

- 病院長就任に際してのご挨拶
- 強度変調放射線治療
- 食と健康情報  
～正しく使おうサプリメント～
- ひな祭りコンサートを開催しました
- C病棟移転のスケジュール案内



## “地域に生かされ、世界に羽ばたく” 附属病院の新しい未来をめざして ～ 病院長就任に際してのご挨拶 ～

病院長 柏木 厚典

平成20年4月1日付けで附属病院病院長を命ぜられました。現在これまでの内科学講座教授とは別の責任の重大さ、困難さをかみ締めているところであります。

ところで、森田陸司前病院長が平成13年4月に病院長にご就任になり、その後7年間で着実に多くの改革を断行され、近代型病院への転換を進めてこられました。特に、医療の安全面、患者サービスの向上、医療スタッフの充実と適正配置、クリニカルパスの推進などにより、病院機能の向上と経営基盤の充実化が図られました。また昨年10月から新D病棟が稼動し、入院患者さん7人に対して1人の看護師を配置する手厚い看護体制も確立され、更に病院機能が充実してまいりました。

さて、今年4月から新しい病院管理体制となりますが、病院運営に関しては基本的に本院勤務者の多くの方々のご意見を参考にさせていただきながら着実に改革を進めてまいりたいと考えています。しかしながら、現状で地域医療の向上をめざした重要な本院の課題をまとめますと以下の点に整理されます。

- |                     |   |
|---------------------|---|
| ① 医療安全が最優先課題        | ⑦ 機能集約型医療および先進医療の推進                     |
| ② 手術部運営の改善          | ⑧ 運営に当たっては現場を知る                         |
| ③ 患者支援センターの充実       | ⑨ 構成員が充実した気持ちで、よい医療の実践に参画しているという実感を得る体制 |
| ④ 病院再開発の推進          | ⑩ IT化、病院事務処理の簡素化と過重労働の軽減                |
| ⑤ 救急医療体制の更なる整備      | ⑪ “心”のかような医療サービスの提供                     |
| ⑥ 病院機能評価更新に向けた体制づくり |   |

これら目標を着実に実践することによって、本院が「患者さんにやさしく、また信頼と安心を与えられる医療」を実践し、地域の皆様に支援され、世界に羽ばたく高度医療を推進する専門病院として更に発展することを期待しています。

### ◎プロフィール

かしわぎ あつのり

出身大学	1971年	大阪大学医学部卒
略歴	1979年	大阪大学医学部第一内科助手
	1983年	滋賀医科大学第三内科助手
	2001年	滋賀医科大学内科学講座教授（内分泌・代謝学）
	2008年	滋賀医科大学医学部附属病院病院長
専門分野		内科学、糖尿病学、代謝・内分泌学、動脈硬化、肥満

# 強度変調放射線治療

## — がん放射線治療の新しい治療法が保険適用になりました

放射線科 講師 邵 啓全

### 新しいがん放射線治療 — 強度変調放射線治療 — とは

強度変調放射線治療（Intensity Modulated Radiation Therapy、以下IMRT）とは、これまでの方法と比べて周辺の臓器への影響を抑えつつ、腫瘍への照射量を増やすことができる理想的な放射線治療です。



### 従来の方法

- 放射線治療医が照射方法を設定し、放射線の強度が均一なビームで照射します。（図1）
- 照射範囲に重要な臓器があると、腫瘍に十分な放射線を照射することが難しい場合があります。

### 強度変調放射線治療(IMRT)

- 腫瘍の治療に必要な放射線量や周囲の臓器が受ける影響などをコンピュータに入力し、理想的な照射方法を設定させます。
- それを実現させるために精度の高い治療装置を使い、放射線の強度が均一でない（強度を変調した）ビームで照射します。（図2）

この方法により、照射範囲にある周辺の臓器への影響を抑えつつ、治療に必要な放射線量を腫瘍に対して集中して照射することが可能となります。臓器への重篤な障害を避けることが可能となるのです。

### 本院では早くからこの治療法に取り組んでいます

本院では、平成15年4月から前立腺がんに対してIMRTを行っております。膀胱や直腸など周辺の臓器に重篤な合併症もなく、良好な治療成績を上げています。なお、これまでは先進医療として患者さんの医療費の一部に実費負担がりましたが、平成20年4月からは保険医療として認められました。これにより患者さんの医療費負担が軽減されることは、喜ばしいニュースです。

図1 従来法：均一強度

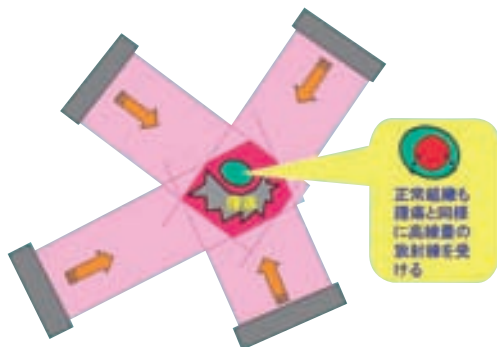
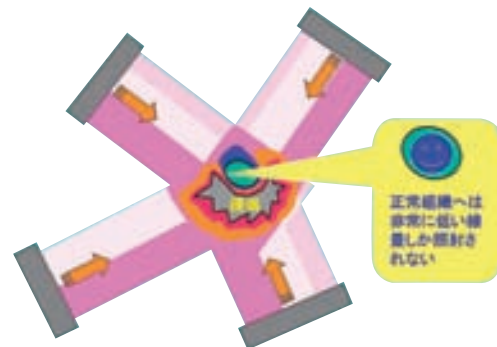


図2 IMRT：コンピュータ制御で不均一



# 食と健康情報～正しく使おうサプリメント～

大阪青山大学 健康科学部 藤原 政嘉先生

(H19.11.23公開講座

「市民の健康と栄養を考える会」より)

**食生活の乱れが、体内で必須のミネラルの不足を招きます。**

不規則な食生活や外食は、人間の健康維持に不可欠な微量元素（鉄、亜鉛などのミネラル）の不足を招きます。また、飲酒習慣や偏食も不足を助長します。食生活が栄養補給の基本である事を忘れないようにしましょう。



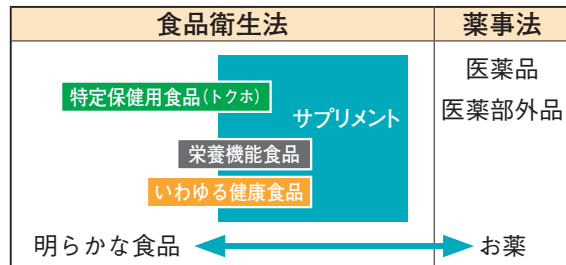
**安全性が保障されているサプリメントは有害にならない？**

一般的な食べ方では特に問題とならない食材でも、加工品や摂取方法、量によっては健康に有害となる場合があります。特に、医師の治療を受けている時は、処方されている薬の効果を弱めたり、相互作用により思わぬ健康被害を生じることもあるので、**必ず主治医に相談しましょう。**

**「天然」「植物性」「自然」「有機（オーガニック）」と書かれているものを選べば安全？**

これらの言葉は原材料の特性を示すだけで、必ずしも製品の「安全性」を保障するわけではありません。

## 国内でのサプリメントの位置づけ



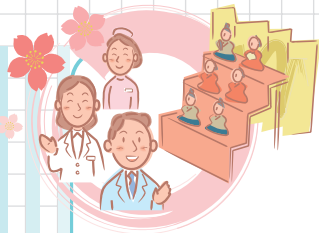
法律上は食品に分類されているため規制が緩いのが現状です。正しい知識を身につけ、かしこく利用しましょう。

- サプリメントをうまく使うには、
- ☆正しい情報と知識を身につけ、
  - ☆分からない事は主治医に相談し、
  - ☆決められた用法、容量を守りましょう。

## ひな祭りコンサートを開催しました

ひな人形と大正琴の音色に一足早い春を感じて…

### 看護部広報活動推進委員会



日を追うごとに暖かくなり、日差しも和らいできました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

去る2月26日～3月3日まで病院の玄関ホールにひな人形を飾りました。今年も看護部華道部の協力を得て花を人形の顔に見立てて作成して頂きました。

色とりどりの人形達に患者さんが足を止め見入っておられる姿をよく目にし、うれしく思っていました。この様子は中日新聞にも紹介されました。

また、3月3日には例年ご協力くださる大正琴琴城流のグループの皆さんによるひな祭りコンサートが行われました。140名以上の方が美しい音色や懐かしい歌に耳を傾け、ともに口ずさみました。一足早い春を感じることができ、よい気分転換になったのではないのでしょうか。会場からはアンコールのリクエストもあり、楽しいひと時を過ごすことができました。



笑顔の患者さんを見て、今後も季節のイベントはもちろん、患者さんの心がホッとあたたまり、満足していただけるような看護を提供できるよう日々心がけていきたいと心あらたまる思いでした。





# 6月にC病棟が新しく生まれ変わります

病院再開発推進室 室長補佐 國友 陵一

## C病棟の改修工事が無事に終わりました！

3月に工事用の足場が取り外され、以前のC病棟とは思えない優雅さに感動を覚えました。病棟北側からD病棟と繋がっている様子はまさに壮観です。

現在はリニューアルオープンに向けて急ピッチで病棟内の内装工事が進められています。



D病棟と一体となったC病棟▶



C病棟入口の様子



D棟と同じ雰囲気のC棟廊下



改修されたトイレ



シールド検査室

## 病棟の移転を予定しています！

C病棟のオープンに伴い、来る6月7日・8日に病棟の移転を行います。入院患者さんをはじめ、家族の皆様、地域の医療機関関係者、救急隊等各方面の方々には、病棟移転期間の前後1週間は大変ご不便、ご迷惑をおかけすることになり、誠に申し訳ありませんが、病院再生のため、何卒特段のご協力の程よろしくお願い申し上げます。



## 病院内に喫茶コーナーがオープンしました！

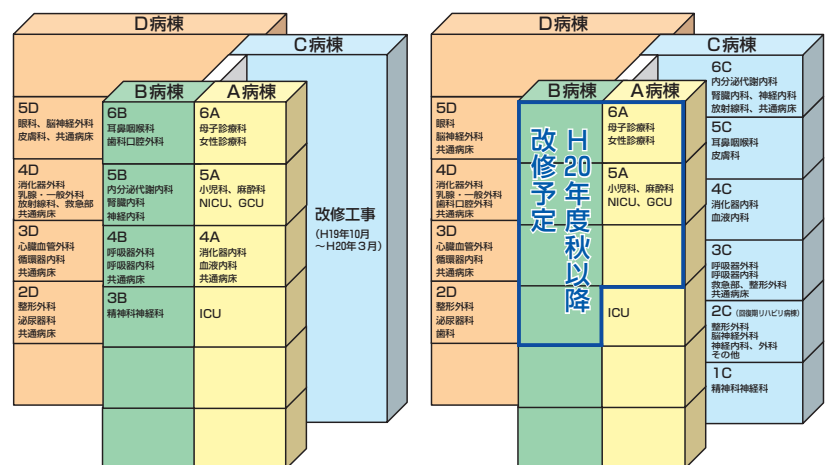
病院玄関ホール左奥の旧院外処方せんFAXコーナーに、昨年以来計画しておりました喫茶コーナー「カフェ コート」(UCC 上島珈琲)が4月1日にオープンしました。患者さん、ご家族、お見舞いの方に、コーヒーで「ホットー息」ついでいただくと幸いです。

病院再開発事業に関し、ご意見・ご提案等ありましたら、病院再開発推進室までお申し出ください。  
メールアドレス hqsaikai@belle.shiga-med.ac.jp 電話 077-548-2954 (直通)  
(病院内のご意見箱もご利用下さい)

### 病棟移転予定

現在

C病棟への移転



## 滋賀医科大学医学部附属病院 理念

### 「信頼と満足を追求する全人的医療」

滋賀医大病院ニュース第18号

編集・発行：滋賀医科大学広報委員会

〒520-2192 大津市瀬田月輪町

TEL: 077(548)2012 (企画調整室)

過去の滋賀医大病院ニュース(PDF版)はホームページでご覧いただけます。

## ●理念を実現するための基本方針

- 患者さま本位の医療を実践します
- 信頼・安心・満足を与える病院を目指します
- あたたかい心で最先端の医療を提供します
- 地域に密着した大学病院を目指します
- 世界に通用する医療人を育成します
- 健全な病院経営を目指します